

食品ロス削減に
向けての取り組み
について



小池 利雄 議員

質問…学校等における学校給食や食育教育等を通して、食品ロス削減の啓発について伺う。

答弁…子供のころから考え、問題意識を持っていただけるよう取り組みを実施していきたいと考えております。

質問…家庭における食品在庫の適切な管理の啓発活動の取り組みについて伺う。

答弁…各家庭で食品を使い切る、

無駄に買わない、買ったものは使い切るという意識の浸透を図り、食品ロスが削減され、生ごみの発生抑制となるよう広報紙等により働きかけていきます。

質問…本市の災害備蓄食品の取り扱いについて、現状と今後の未利用備蓄食品の有効活用について伺う。

答弁…防災意識の向上や家庭内備蓄の促進を図ることを目的と

して、小中学校での防災教育や自治会での自主防災活動等に提供して活用していきたいと考えています。

質問…フードバンク創設を取り組む考えがあるか伺う。

答弁…フードバンク大田原の活動を周知すると共に、新たな食料品の保管場所の確保、市内企業への呼びかけなど、後方支援をしていきたいと考えています。

一般質問



本澤 節子 議員

教育体制の拡充
について

質問…不登校児にも公立高校進学を可能とする体制を市は保障し、県に要求すべきと思うが考えはどうか。

答弁…本市では不登校の児童生徒が社会的自立に向けて、みずからの進路を主体的に形成していくための生き方を支援するという共通理解のもと、市教育委員会と教職員が綿密に連携しながら、不登校児童生徒の個別対

応に取り組んでおります。教育相談体制を充実させることで、児童生徒の不登校を未然に防ぐことにも力を入れており、議員

ご指摘の公立高校への進学という点については、県立高校受験に際して中学校在学中の欠席が多かった生徒がみずからの言葉で欠席の理由等を申告できる自己申告書という制度もあります。

質問…奨学金を返済しなくても

すむ全額給付型を実現すべきと思うがどうか。

答弁…平成26年度に条例の一部を改正し一部の返還を免除することにより、実質的に給付する制度を開始し、平成29年4月から給付を受けられる方が決定いたします。今後、さらなる制度の充実を目指していきます。